



ゼロ災継続CHUたろう

【キャンペーンキャラクター】

Cool! 西濃キャンペーン2026 ～ 熱中症重症化Zeroへ～



職場における熱中症防止対策の推進について

大垣労働基準監督署

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan



キャンペーンの目的

気候変動の影響により、年平均気温は上昇傾向になっており、2026年の夏も気温が高い傾向が続くと予報されています。熱中症による労働災害についても、気温の上昇に伴って増加傾向となっています。

職場における熱中症対策について、厚生労働省では、平成29年から毎年実施している「STOP 熱中症クールワークキャンペーン」、令和3年の「職場における熱中症予防基本対策要綱」の策定に加え、令和7年6月施行の改正労働安全衛生規則による措置の義務化により推進してきました。さらに、現在は最新の知見などを踏まえた熱中症防止のためのガイドラインを新たに策定しています。

本キャンペーンは、熱中症対策の重要性や具体的な防止対策について管内の事業場に広く周知し、労働安全衛生規則に定める措置の徹底、新たなガイドラインに定める措置の推進により、熱中症の予防、熱中症に罹患した場合の早期発見・重症化ゼロを目指すものです。



キャンペーン期間

2026年5月1日から同年9月30日まで

1 キャンペーン実施の背景について



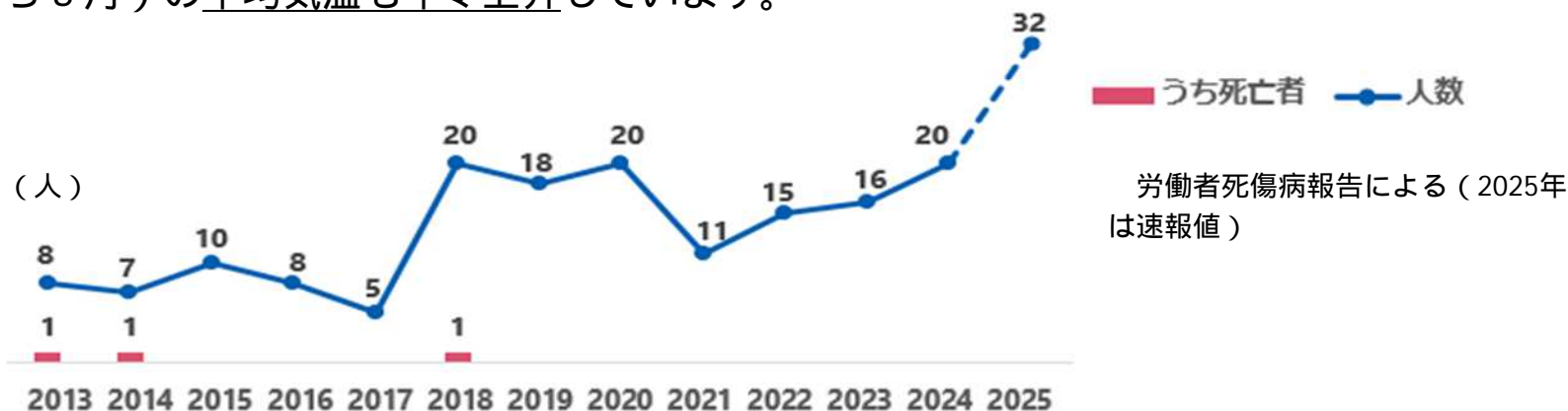
岐阜県内の熱中症発生状況（推移）

休業4日以上[※]の熱中症による死傷者数

岐阜県内で発生した熱中症による休業4日以上[※]の死傷者数は、増加傾向となっており、2021年からは毎年増加しています。過去には死亡者も発生しています。

一方、夏季（6月から8月）の平均気温も年々上昇しています。

【県内の熱中症発生状況】



【夏季（6月から8月）の気温偏差】



1 キャンペーン実施の背景について



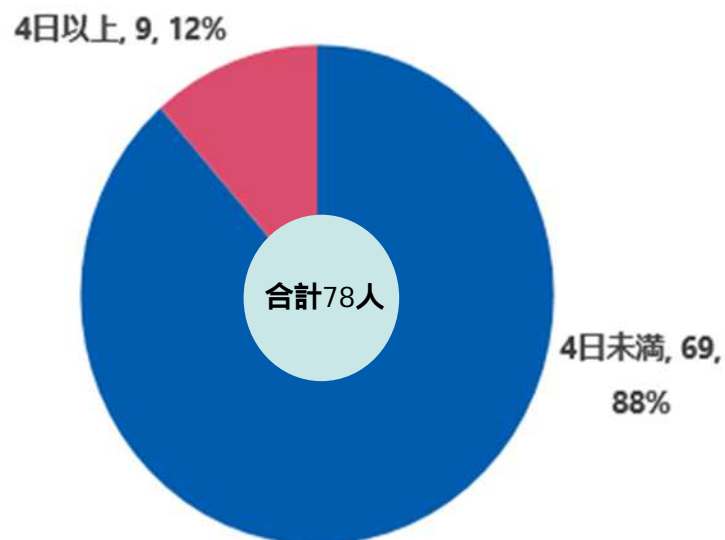
当署管内の熱中症発生状況（2025年）

労働者死傷病報告 + 療養補償給付請求書から把握した人数（休業4日未満も含む）

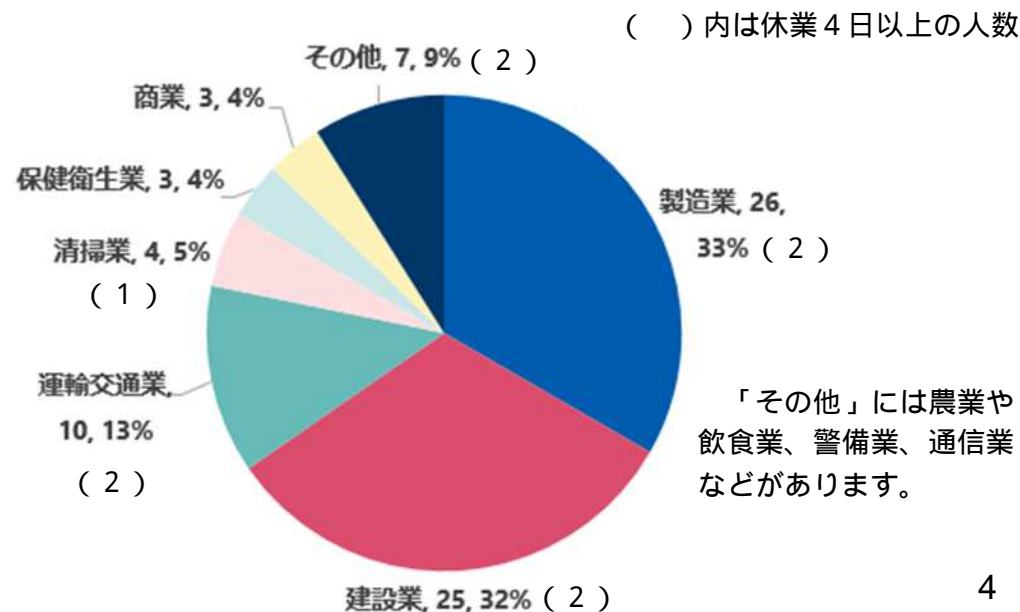
当署管内における熱中症による休業4日以上の死傷者数は、2025年（速報値）は9人となっています。休業4日未満も含めると、78人となります。

業種別に見ると、製造業（26人・33%）、建設業（25人・32%）、運輸交通業（10人・13%）の順で多くなっていますが、保健衛生業や商業などの幅広い業種で発生しています。

【休業日数別の被災者数】



【業種別の被災者数】

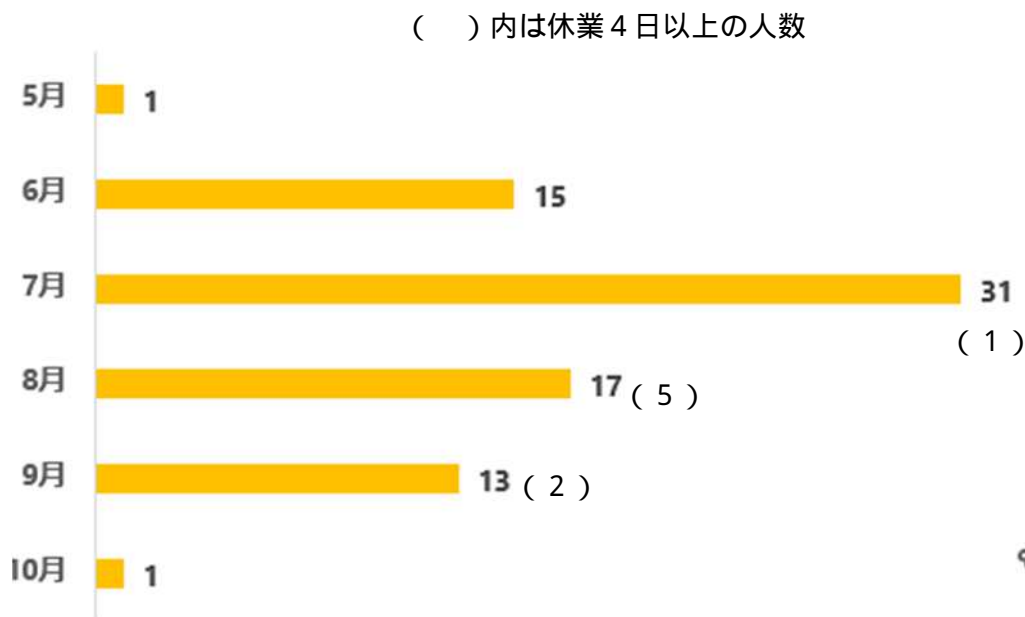


1 キャンペーン実施の背景について

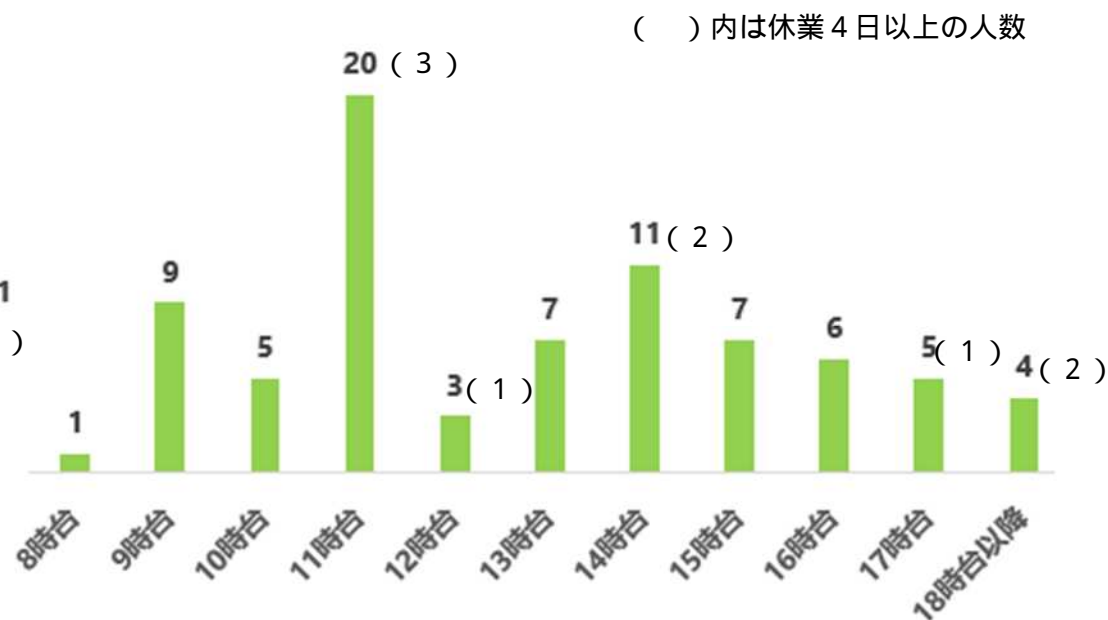
熱中症は5月から10月の間で発生しており、6月にはすでに15人、7月が最も多い31人となっています。熱中症予防のための早めの準備が必要です。

時間帯別では、11時台が20人と最も多く、次に14時台が11人となっていますが、いずれの時間帯にも発生しています。また、業務開始後の9時台や気温が下がった17時台や18時台以降にも発生しています。

【休業日数別の被災者数】



【発生時間帯別の被災者数】



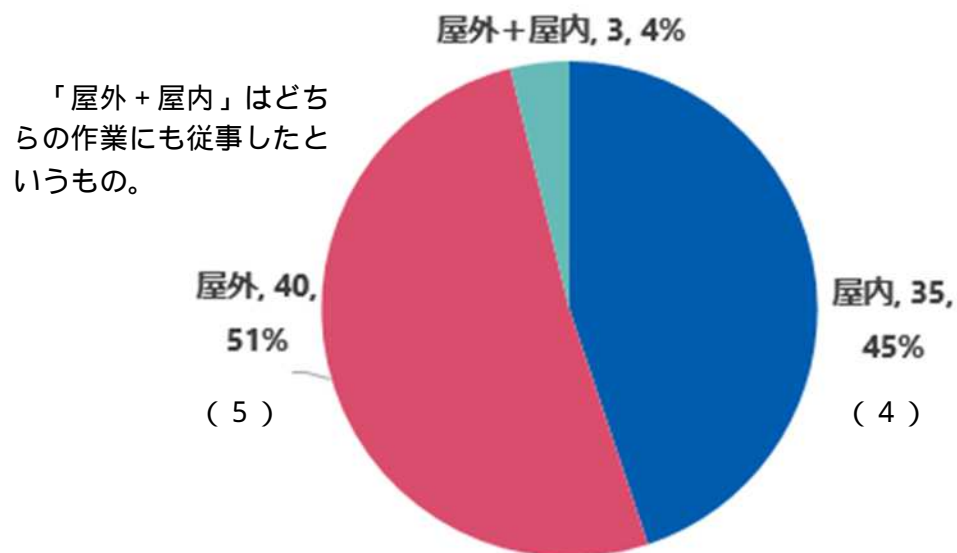
1 キャンペーン実施の背景について

被災者の作業場所としては、屋外が40人（51%）と多くなっていますが、屋内においても35人（45%）となっており、大きな差はありません。熱中症には気温だけでなく、湿度や通風、輻射熱など状況が関連しており、WBGT値の把握が重要です。

被災者の年齢別では、20代が21人（27%）と最も多くなっていますが、どの年代でも発生しています。なお、休業4日以上では、60代が3人（33%）で最も多くなっています。

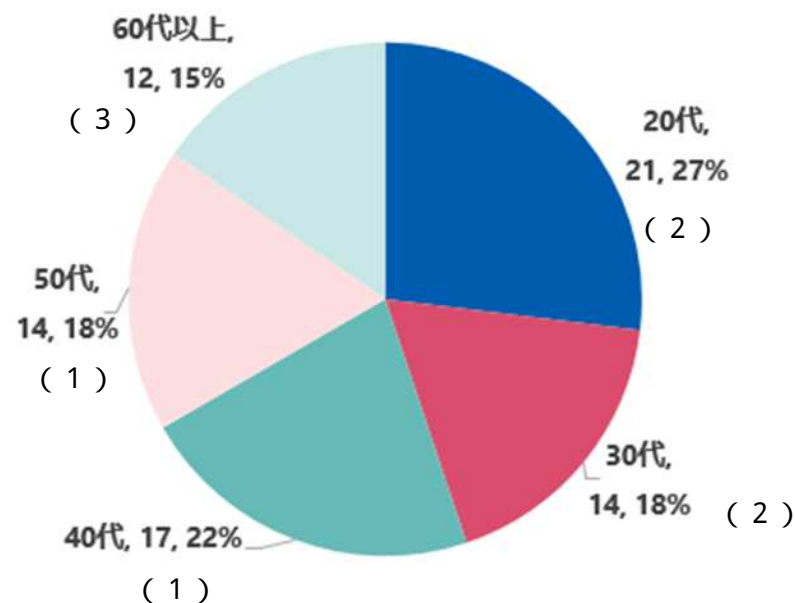
【作業場所別の被災者数】

()内は休業4日以上的人数



【年代別の被災者数】

()内は休業4日以上的人数



1 キャンペーン実施の背景について

熱中症発症時の被災者の症状はさまざまです。周囲が異変に気付いて対応した事例も多くあります。

【熱中症発症時の被災者の症状】

頭がぼーっとする	汗が出ない	顔色が悪い → 休憩して水分補給後、急にけいれん
息苦しさ	視界がチカチカする	息苦しい → 横になって体を冷やす → 手足のしびれ
体のしびれ	眼の奥の痛み	立ちくらみ → 水分補給後、大量の発汗と頭痛
足がつる	体のほてり	手のしびれとだるさ → 体を冷やしたが30分程で悪化
大量の発汗	意識もうろう	顔のほてり → 手足の先のしびれ → 大量の発汗
吐き気・嘔吐	体の震え・悪寒	吐き気と体に力が入らない → 休憩・冷却後も改善せず
頭痛	倦怠感	倦怠感を覚え休憩 → 回復後作業を再開したところ手足のしびれ
ふらつき・歩行困難	意識喪失	普段以上の発汗 → 手足のしびれ
動悸	力が入らない	吐き気 → 体のほてり・しびれ → 手の硬直 → 立ち上がれず
顔面蒼白	ろれつが回らない	動悸を感じる → 突然気を失い、後ろへ倒れた
体のけいれん	顔の麻痺	全身の脱力感 → 自力でペットボトル持てず → 水分補給後に嘔吐
めまい	下痢	腕がつる → 休憩後、水分補給し回復 → 帰宅し食事をして就寝 →
呼吸が荒い	発熱	夜中に足のつりと吐き気

2 キャンペーンの実施内容について（5月1日から9月30日）

キャンペーンの周知（4月～5月）

リーフレット等を活用し、監督指導等のあらゆる機会を通じてキャンペーンを周知する。熱中症予防管理者講習についても周知と勧奨を行う。

大垣労働基準協会

キャンペーンリーフレット・ポスター、熱中症研修動画の作成。研修動画は事業場内研修を行う際に活用可能なもの。熱中症予防管理者講習の実施（5/28・6/16） 有料講習

安全週間準備講習会（6月2日）

キャンペーンの説明、熱中症防止のための研修会を実施。

大垣ミナモソフトボールクラブ

選手に協力いただき、熱中症予防ショート動画を作成、上映する。動画はキャンペーン期間を通じて活用。

一日監督署長イベントの実施（7月）

一日監督署長によるパトロールを実施し、熱中症対策の好事例を発信する。

大垣ミナモソフトボールクラブ

一日監督署長として現場をパトロール。

署熱現場である建設現場を対象として検討中。

【活用する資料】

エイジフレンドリーでゼロ災プロジェクトにおいて収集した熱中症取組事例

ポータルサイト「学ぼう！備えよう！職場の仲間を守ろう！職場における熱中症予防情報」

衛生週間準備講習会の実施（9月3日）

一日監督署長イベントの結果報告を行う。
エイジフレンドリー指針に関する研修会を実施。

学ぼう！備えよう！職場の仲間を守ろう！
職場における熱中症予防情報

